

気象庁 令和2年度3次補正予算の概要

防災・減災、国土強靱化の推進

5,971百万円

令和2年7月豪雨により多大な被害を及ぼした線状降水帯の予測精度向上をはじめとする防災気象情報の高度化のため、観測精度の高い最新の気象レーダーの設置や、気象庁及び海上保安庁の連携による洋上での水蒸気観測・監視体制の強化等を実施。

(1) 線状降水帯の予測精度向上のための気象観測・監視の強化

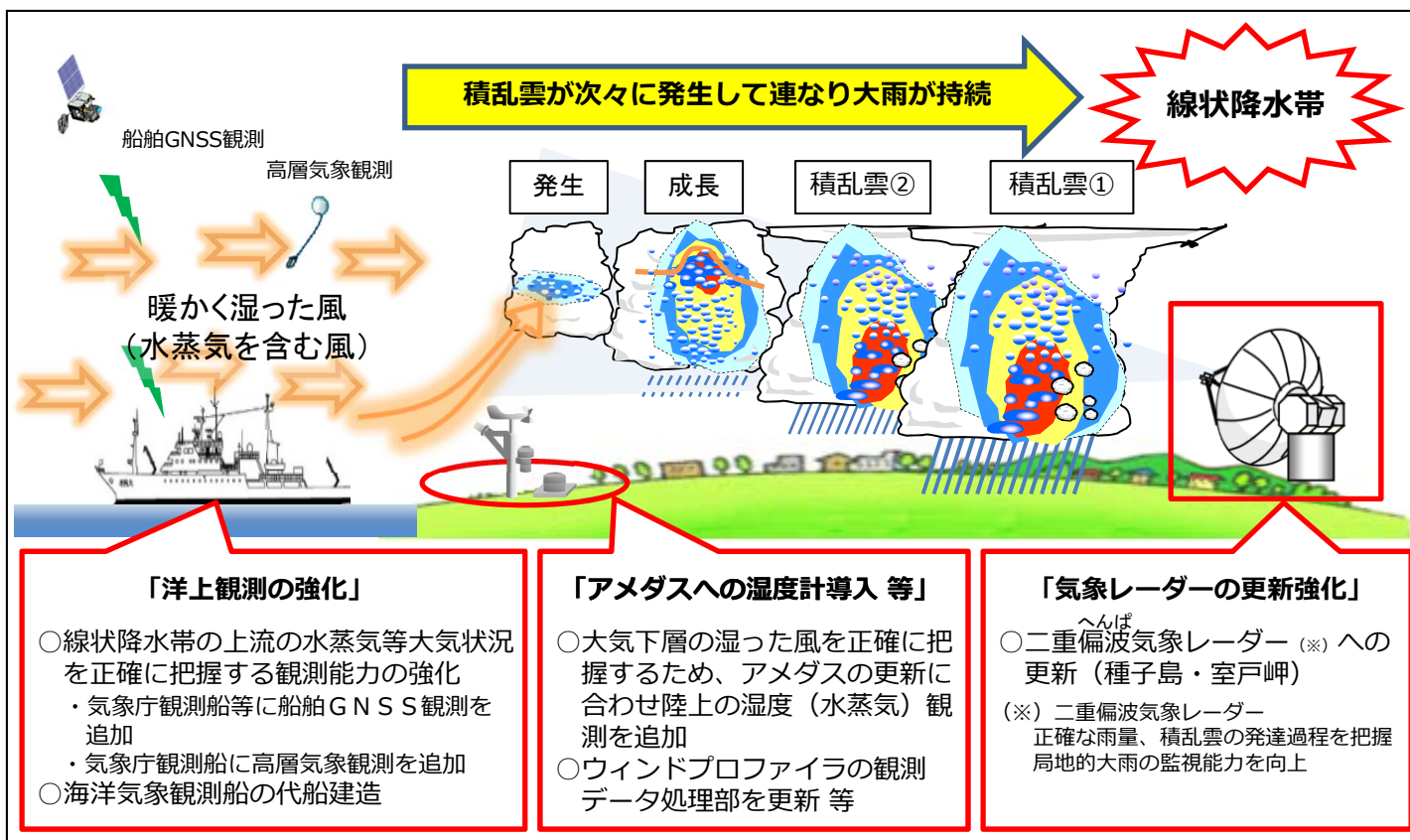
5,565百万円

- ① 洋上観測の強化
- ② アメダスへの湿度計導入等
- ③ 気象レーダーの更新強化

3,664百万円

711百万円

1,190百万円



(2) 地震・火山観測体制の強化

406百万円

- ① 地震観測施設の整備
- ② 火山監視・観測用機器の整備

143百万円

263百万円

